

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)和泉市いぶき野3丁目計画	階数	地上8F
建設地	大阪府和泉市いぶき野3丁目6番1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法第2	平均居住人員	540 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2014年11月26日
敷地面積	6,016 m ²	作成者	和田
建築面積	2,214 m ²	確認日	2014年11月26日
延床面積	12,344 m ²	確認者	吉村



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 92%

③上記+②以外の: 92%

④上記+: 92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	3.0
湿熱環境	4.2
空気質環境	3.1
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.5
耐用性	2.8
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

建物の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.9
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.3
地域環境	3.0
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		その他
総合	良好な緑地を確保し、豊かな住空間を創造する。	0
Q1 室内環境	室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を豊富に計画し、良好な住環境の形成に配慮した。
LR1 エネルギー	住宅性能評価の省エネ等級4取得予定	LR3 敷地外環境 ゴミ置き場を設置し、廃棄物処負荷抑制に配慮した。
Q2 サービス性能	耐久性に優れた建物としている。	
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材や有害物質を含まない建材種別を採用している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)和泉市いぶき野3丁目計画 新築工事		
	建設地	大阪府和泉市いぶき野3丁目6番1		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			3
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.3	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 5.0 住戸・宿泊 5.0	4	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			5.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			4.9
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			—
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない		—
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容		スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		3.0		
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					